



2月附幼だより

令和6年1月31日

「やりたい！」の気持ちが必要です

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

改めて、令和6年のごあいさつを申し上げます。短い3学期ですが、園児一人一人が成長するように、楽しい幼稚園生活ができるようにもうひと頑張りしたいと考えています。冬の初めは雪が少なく、今年は雪が少ないのかと思いましたが、冬休み中に園庭の積雪は結構多くなりました。例年よりも多いと言って良いでしょうね。

園庭の北側には園舎裏の除雪の雪を寄せてできた雪山が大きく連なっています。外遊びをはじめると多くの園児はまず大きな築山に挑戦します。急な斜面を登ったり転がり下りたり、楽しそうです。さらに園庭の真ん中には用務員の木下さんが除雪をしながら作った大きな雪山ができています。園庭の土の築山より大きくなったと思います。つぼみ組前の雪山には穴が掘られて、かまくらのようになっています。それぞれ、自分の思いに合った場所で遊んでいます。最近の外遊びには園児の大好きな色水が登場して、園庭の雪山に色を付けたり、色付きの氷を作ったりして、園児の遊びはさらに広がっています。園児は自分の好きな遊びをしている時が最も生き生きしています。

先日、園児全員で大学のバスを使ってスタルヒン球場のちびっこスキー場へ行きました。天気が良く、比較的暖かく、チューブ滑りには最高の条件でした。会場へ着くと園児自身が「チューブ滑り面白そう！！」と感じたのでしょう。担任が何も言わなくても大きなチューブを両手で持って雪の坂を上って何度も滑ります。チューブの上にバランス良く乗ることができるとスピードが出ます。それが楽しくて、何度も何度も乗っていました。そのうちに、いくつかのチューブをつなげて友達と一緒に滑っていました。新しい遊びの発見や遊びの工夫が遊びの楽しさを2倍にも、3倍にもするものです。

日常生活・遊びの中で、新しい発見があったり、工夫や挑戦がうまくいくこと、時には失敗しても工夫やく繰り返しの挑戦で楽しさも増し、考えたり、学んだりすることができると思います。それが、小学校からの学びの土台になります。幼児期は「やりたい！」という気持ちで遊ぶことが大事です。

2月3日は思い切り豆まきしましょう

お家では節分に豆まきをしますか？掛け声は A「鬼は外、福はうち」 B「福はうち、鬼もうち」 C「福はうち、福はうち」どれですか？各ご家庭、出身地によって掛け声はもちろん、鬼に対する考え方も違います。幼稚園では「鬼は怖いけれど、みんなでやっつけよう！」をコンセプトに園児も教師もみんなで楽しみ、園児の健康を願う日と考えています。節分を過ぎると、暦の上では春です。日照時間も長くなり、春が近づく喜びを皆さんで感じたいですね。

